

令和 5 年度

運営に関する計画



大阪市立加美中学校

大阪市立加美中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 日々の教育活動において、指導法の研究・工夫・改善に取り組んだ結果、生徒の学習に対する取り組み姿勢に良好な変化が見られる。様々な取り組みに対する変化はみられるが、全国学力・学習状況調査や英語能力判定テストなどにおいて、学力の向上を示す大きな数値変化は見られない。
- 日々の教育活動の様々な場面で「互いを思いやる心の育成」を計画的・継続的に実践してきた。結果として、全ての学校行事において、生徒が協力し合う姿が発揮され、秩序ある集団活動ができつつある。しかし、集団に馴染めない一部の生徒の指導と育成が課題である。
- 特別支援教育担当者、特別支援教育委員会を中心に全教職員が、一人ひとりを大切にしたきめ細やかな指導と支援を行い、個に応じた対応が拡充している。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を 前年度より減少させる。
- 令和 7 年度の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 60%以上にする。
- 令和 7 年度までの中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も 前年度より向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 55%以上にする。
- 令和 7 年度の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 50%以上にする。
- 令和 7 年度の校内調査における「家でも学習している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の校内調査における「日々の活動の中で、学習端末を活用している」の項目で、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度末の大阪市調査において、教員の勤務時間上限に関する基準を満たす教職員の割合を 75%以上(基準 2)にする。

2 中期目標に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- ・ 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 86%以上にする。(令和4年度 85.2%)
- ・ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を 前年度より減少させる。(令和4年度 13.9%)
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 増加させる。(令和4年度 2.8%)

本校の年度目標

年度末の校内調査における「学校生活が楽しい」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。(令和4年度 84.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- ・ 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。(令和4年度 38.1%)
- ・ 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 前年度より1ポイント向上させる。(令和4年度 1年生 国語 0.87 数学 1.02 、 2年生 国語 0.88 数学 0.81)
- ・ 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を 50%以上にする。(令和4年度 32.1 %)
- ・ 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 42%以上にする。(令和4年度 40.8%)

本校の年度目標

- ・ 年度末の校内調査における「家でも学習している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 45%以上にする。(令和4年度 43.0%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ・ 年度末の校内調査における「日々の活動の中で、学習端末を活用している」の項目で、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を 70%以上にする。(令和4年度 データなし)
- ・ 年度末の大阪市調査において、教員の勤務時間上限に関する基準を満たす教職員の割合を 70%以上(基準2)にする。(令和4年度 65.8%)

本校の年度目標

年度末の校内調査における「校内研修組織が確立され、計画的に校内研修を行っている」に対して、肯定的に回答する教職員の割合を 85%以上にする。(令和4年度 81%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立加美中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A:目標を上回って達成した | B:目標どおりに達成した |
| | C:取り組んだが目標を達成できなかつた | D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対し て、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を <u>86%以上にする</u>。(令和 4 年度 85.2%) 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を<u>前年度より減少させる</u>。(令和 4 年度 13.9%) 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を<u>増加させる</u>。(令和 4 年度 2.8%) <p>本校の年度目標</p> <p>年度末の校内調査における「学校生活が楽しい」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を <u>85%</u> <u>以上にする</u>。(令和 4 年度 84.2%)</p> | |
| | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめ・不登校対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒主体の学校行事や委員会活動を行い、好ましい人間関係や信頼関係を確立できる集団づくりを行う。 毎日の「心の天気」や学期毎の「いじめ等アンケート」を通じて、個々の生徒の状況の把握に努め、いじめや問題行動の早期発見・早期解決に向けて取り組む。 不登校生徒や支援を要する生徒に対して、多様な学習機会や居場所を確保しながら、個別で適切な学びが提供できる体制の構築に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対し て、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を <u>86%以上にする</u>。(令和 4 年度 85.2%) 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を<u>前年度より減少させる</u>。(令和 4 年度 13.9%) 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を<u>増加させる</u>。(令和 4 年度 2.8%) 年度末の校内調査における「学校生活が楽しい」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を <u>85%</u> <u>以上にする</u>。(令和 4 年度 84.2%) | |
| <p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 人権教育推進委員会</p> <p>生徒の自尊感情を高め、他者への思いやりの心を育てるために、各学年で系統立てた人権教育や性教育等に取り組むとともに、芸術鑑賞を実施することで豊かな感情を育む。</p> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査の「相手の気持ちを考えて話をしたり、行動したりしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を <u>95%以上にする</u>。(令和 4 年度 94.9 %)</p> | |

| | |
|-------------------------|--|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| 年度目標について | |
| 取組内容について | |
| ① | |
| ② | |
| 次年度への改善点 | |
| 年度目標について | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|--|----------|
| 取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 道徳教育推進担当 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 35 時間の授業時間の確保及び授業内容の精査に努める。 ・ 教科書を有効に活用し、一人ひとりが自分自身の問題ととらえ、「考え議論する道徳」の授業を充実させる。 | |
| 指標 <p>年度末の校内調査の「自分には良いところがあると思う」に対して肯定的に回答する生徒の割合を <u>80%以上にする</u>。(令和 4 年度 77. 9%)</p> | |
| 取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 進路委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育年間計画・全体計画を策定し、キャリア教育を推進する。 ・ 職業講話(夢授業)や職場体験学習等、職業に関連したキャリア教育を実施する。 | |
| 指標 <p>年度末の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を <u>90%以上にする</u>。(令和 4 年度 89.3%)</p> | |
| 取組内容⑤【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 特別支援教育委員会 <p>個別の教育支援計画や個別の指導計画を策定し、特別支援教育を推進する。</p> | |
| 指標 <p>年度末の校内調査の「子どもは学校生活が楽しいと言っている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を <u>90%以上にする</u>。(令和 4 年度 86.2%)</p> | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標について

取組内容について

③

④

⑤

次年度への改善点

年度目標について

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。 (令和4年度 38.1%) 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 (令和4年度 1年生国語0.87 数学1.02 、 2年生国語0.88 数学0.81) 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を 50%以上にする。 (令和4年度 32.1 %) 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 42%以上にする。 (令和4年度 40.8%) <p>本校の年度目標</p> <p>年度末の校内調査における「家でも学習している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 45%以上にする。 (令和4年度 43.0%)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 教育課程・学力向上委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教員が年1回以上の研究授業を行い、各教員の指導力向上を目指す。 各教科・総合的な学習の時間・特別活動を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善に取り組む。 学習習慣や学習内容の定着を図るため、宿題や提出物を計画的に課す。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。 (令和4年度 38.1%) 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 (令和4年度 1年生国語0.87 数学1.02 、 2年生国語0.88 数学0.81) 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を 50%以上にする。 (令和4年度 32.1 %) 年度末の校内調査における「授業が分かりやすい」に対して、最も肯定的な回答する生徒の割合を 35%以上にする。 (令和4年度 32.7%) 年度末の校内調査における「家でも学習している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 45%以上にする。 (令和4年度 43.0%) | |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
|-------------------------|--|
| 年度目標について | |
| 取組内容①について | |
| (国語) | |
| (社会) | |
| (数学) | |
| (理科) | |
| (英語) | |
| (音楽) | |
| (美術) | |
| (技家) | |
| 次年度への改善点 | |
| 年度目標について | |
| (国語) | |
| (社会) | |
| (数学) | |
| (理科) | |
| (英語) | |
| (音楽) | |
| (美術) | |
| (技家) | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|--|----------|
| <p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 図書館担当 言語活動の充実を図るため、図書室の学習環境の整備を行う。</p> | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の来館者数と貸し出し冊数を前年度より向上させる。(令和 4 年度 来館者886人 貸出数723冊) ・ 年度末の校内調査における「読書が好きである」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 55%以上にする。(令和 4 年度 50.2%) | |
| <p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 保健体育科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の発達段階に応じた体力・運動能力の向上を図る。 ・ 生涯にわたって運動に親しむ習慣を身につけ、健康に対する意識を高める。 | |
| <p>指標</p> <p>年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 42%以上にする。(令和 4 年度 40.8%)</p> | |
| <p>取組内容④【基本的な方向 4 健やかな体の育成】 保健環境部</p> <p>生徒が規則正しい生活習慣を身に付け、心身ともに健康な学校生活を送ることができる環境を目指す。</p> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査における「自分の健康のために、食事に気を付けている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 30%以上にする。(令和 4 年度 25.6%)</p> | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標について

取組内容について

②

③

④

次年度への改善点

年度目標について

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「日々の活動の中で、学習端末を活用している」の項目で、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を <u>70%以上にする</u>。(令和4年度 データなし) 年度末の大阪市調査において、教員の勤務時間上限に関する基準を満たす教職員の割合を <u>70%以上(基準2)にする</u>。(令和4年度 65.8%) <p>本校の年度目標</p> <p>年度末の校内調査における「校内研修組織が確立され、計画的に校内研修を行っている」に対し て、肯定的に回答する教職員の割合を <u>85%以上にする</u>。(令和4年度 81%)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向 6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 CT担当</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習端末の活用を促進するために、校内の環境整備を図り、各授業や学校行事等の様々な場面で活用機会を増やす。 学習端末持ち帰りによる課題の提出や家庭学習を推進する。 | |
| <p>指標</p> <p>年度末の校内調査における「日々の活動の中で、学習端末を活用している」の項目で、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を <u>70%以上にする</u>。(令和4年度 データなし)</p> | |
| <p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 管理職</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間会議数の減少と校務支援システムを利用した連絡事項のデータ化を推進する。 部活動支援員の配置による顧問の先生の業務負担軽減を図る。 各委員会と連携し、本校の課題解決に向けた校内研修を計画的に実施する。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の大阪市調査において、教員の勤務時間上限に関する基準を満たす教職員の割合を <u>70%以上(基準2)にする</u>。(令和4年度 65.8%) 年度末の校内調査における「校内研修組織が確立され、計画的に校内研修を行っている」に対し て、肯定的に回答する教職員の割合を <u>85%以上にする</u>。(令和4年度 81%) | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標について

取組内容について

①

②

次年度への改善点

年度目標について